

♪サロン・うみ×中泊ふれあいサロン 交流会♪



最後に、みんなで
記念撮影をしました☆

皆様、毎日暑い日が続いていますね。暑い暑いと思っても、夕方にはトンボが飛び始め、少し秋の気配を感じてきました。7月は代表者会などで「やってみたい」との声が上がっていた『サロン交流会』を実施しました。

交流を行ったサロンは、活動内容が多様な一本松地域「サロン・うみ」と改めてサロンとはなんだ？と意欲的に活動している「中泊ふれあいサロン」です。今回は「サロン・うみ」が活動拠点にしている満倉集会所に中泊サロンのスタッフさんが訪問しました。

普段、海が一面に広がる景色の中で活動している中泊サロンのみなさんは満倉の壮大な畑や山の景色に感動。交流サロンの良い効果が早くも見つかった瞬間でした。

また、集会所には「サロン・うみ」手作りの作品が壁に飾られ会場を盛り上げてくれました。

この日はお互いのサロン活動の話や久しぶりにあう友人、知り合い同士の情報交換など、さすがみなさんコミュニケーション能力の高さで、時間たっぷり交流を楽しむことが出来ました。

サロン交流会～海と山の出会い～



愛南町社協の声
芝崎 綾

活動の卵

社協では、毎年愛南町の小学生を対象に「夏休みふれあい交流会」を開催しています。今年は、8月2日に火おこし体験やシーカヤック体験など愛南町の大自然の中で、声を掛け合いコミュニケーションをとることや協力し合うことの大切さを実感し、交流を深めていきました。初めて会う人のなかでの自己紹介や活動の中で声を出すということは、子どもでも大人でも苦手と思う人が多いと思います。しかし、それを乗り越えると、ちょっと成長したような、満足そうな、とてもいきいきとした表情になります。そして、いつの間にか誰とでも話せるようになり、講師ともお友達になっていたりします。賑やかで楽しい体験を通じて、子どもたちの交流と自信がつく良いきっかけが出来たのではないかと思います。

サロンには、さまざまなジャンルの講師がいます。これからも、子どもたちに工作や郷土料理など伝えることが出来るといいなと思います。

サロン訪問記

十人会

彩り華やかな花もちの出来上がり♪



それぞれが担当に分かれて作業します。

城辺地域岩水地区のサロン「十人会」へ訪問してきました。十人会は、春はくさぎ菜ずし、夏は花餅、秋はコンニャク作り、冬には包丁汁など、季節に応じた料理を会員みんなで調理し昔話や地域の情報交換を行いながら、面白話しやたわいもない会話を楽しんでいます。

コロナ禍では、「ご縁茶屋」の「お好み焼き」などをテイクアウトしてサロンを開催しました。海岸に集まり、お好み焼きを囲いみんなと顔を合せるきっかけとなりました。

今回は、私も子ども頃楽しみだった「花餅づくり」でした。「今日はデイの日だったけど、サロンがあるから休んだんで。サロンは楽しい！」と会員さんの声がありました。昔の記憶をたどりながらカラフルな花餅を作っておられました。十人会では、亡くなった会員さんとの関係も途切れさせず、初盆を迎える会員さんのお宅にもお供えられました。

エール！サロンに届け！

3年前、社協での実習でサロンに伺った際、皆さんが満面の笑顔で話されている姿が印象的でした。私は今、役場に勤めていますが、サロンに行くこともあると思いますので、皆さんの元気なパワーを感じながら、一緒に盛り上げていけたらと思いますのでよろしくお願いします！



保健福祉課
菅原 快哉

令和3年度 第1回 愛南ふれあい・いきいきサロン代表者会 開催しました



令和3年7月16日(金)城辺公民館にてサロン代表者会を行い、今年度は役員改選があったり、2年ぶりに山梨県立大学より高木寛之先生をお迎えし、賑やかな中にも真剣にサロンや地域についてみんなで考える時間を過ごしました。

【内容】

- ①あいさつ
愛南町社協事務局長 吉田英史
- ②愛南ふれあいサロン連絡会 役員の選任について
会長:松本明子 副会長:坪崎和枝・鎌田猛
- ③高木の部屋～サロン冊子・サロンだよりについて～
対談 山梨県大学 高木寛之先生×社協 芝崎綾
- ④地域共生社会の実現に向けて
愛南町社協 地域コーディネーター 宮崎早苗
- ⑤まとめ
【アドバイザー】
山梨県立大学 高木寛之先生
- ⑥閉会あいさつ
愛南ふれあい・いきいきサロン連絡会会長 松本明子



【会長】

松本 明子(お～い元気が～い)

現在町内25サロンが活動しています。サロンを通じて、笑顔で人と人が繋がり生きがいのある場となるよう、元気に頑張りたいです。

また、サロン間交流が増え、新鮮な気持ちで活動していきたいですね。

【副会長】

坪崎 和枝(サロン・うみ)

「今」を「楽しむ」サロンを目指して、地域の横の繋がりを深めていきたいと思っています。サロン同士、仲間同士の繋がりを大切に、無理のない活動をしていきます。

【副会長】

鎌田 猛 (楽しい集い)

地域に集まる場所が必要!気になる人には「お～い!元気かあ?」と声を掛け合い、ひきこもりがちな高齢者の楽しい集いを続けていきたいと思っています。

高木の部屋

～サロン冊子・サロンだよりについて～

コロナ禍でなかなか発行できなかった、サロン冊子「愛南町サロン日和」を皆さんに配布し、今年4月から毎月22日発行の「愛南NOKOTO」についてお伝えしました。「町内サロンの情報が分からない」「他サロンの活動を知りたい」との声から生まれた冊子や便りをどう活用するか、みなさんと考えました。

サロン冊子を各公民館へ設置したい、という提案に皆さん賛成していただきました。毎月の便りは、会員さん分も枚数が必要という意見や「回覧板で回ってきているよ!」という情報がありました。

アンケートより(代表者さんの声)

- ・他のサロンの活動が見れて良かったです。
- ・サロンの仲間が一人づつ冊子や便りを見て情報を得る事は大変よい事で賛成です。然し、コピー代は各サロン、地域、個人ですべきで、何でも町(社協)の助成を頼るべきではない。

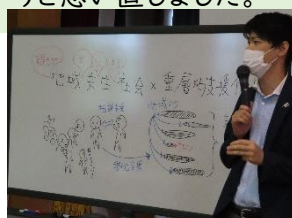
地域共生社会の実現に向けて

(愛南町社協 地域コーディネーター 宮崎早苗)

今年度から役場に社協職員が1名出向し、相談支援の充実を図るとともに、サロンや地域活動等を通じ、子どもから高齢者まで「誰もが地域で安心して共に生きる社会」を実現するため地域づくり事業に取り組んでいます。そこで今一度、社協はどんな事業をしているのか?実際の町内の活動を基に、住民みんなが地域で暮らしていけるためにどんな活動をしているのか分かり易く講義して頂きました。高木先生からも、社会福祉協議会は、地域にいる困りごとを抱えた人を、多様な人が関わり、包括的に受け止めることが出来る地域づくりに取り組んでいる。その取り組みの中で、地域づくりに取り組んでいる。その取り組みの中で、地域でのサロンのポジションは?サロンに出来る事は何か?を考えていけるといいですね、と今後のサロン活動の意義を教えてくださいました。

アンケートより(代表者さんの声)

- ・とてもすばらしいと思いました。わかりやすくて良かった。今後の方向付けが出来る。
- ・事業名からはかたすぎると思いましたが、宮崎さんのお話からよく分かりました。
- ・サロンの大切さを聞かせて頂き、少人数のサロンでも、人とのつながりを大切にして、がんばっていこうと思直しました。



山梨県立大学
高木寛之先生



地域コーディネーター
宮崎早苗



サロンだより「愛南NOKOTO」は、愛南町社会福祉協議会ホームページにも掲載しております。スマートフォンの「バーコードリーダー」でこのQRコードを読み取り接続するとご覧いただけます。